

久保 幸 新看護部長インタビュー

～看護部長としての抱負～

地域完結型医療へと進む今、当院の看護職は、地域と病院をつなぐ役割があります。地域のニーズに応えるために、看護部長として病院から期待されていることは、地域で活躍できる看護職の育成だと思います。私が人材育成で大切にしていることは「気づき」です。看護実践は常に判断の連続で、臨床で些細な変化に気づけるかが非常に重要です。看護の理念の実現を目指し、観察力を養い、個々の経験を内省しながら、安全・安心・安楽な看護を提供できる自律した看護職を育成したいと思います。また、多職種協働によるチーム医療の提供が求められるため、互いの「気づき」を尊重し、看護職が要となって良好な関係性を築いていきたいと思っています。

今回、副病院長を同時に任命され、患者サービスを担当します。育児・介護中の短時間勤務など働き方は多様化しています。質の高い看護を提供するためにも、職員がいきいきと働き続けられる環境を整えていきたいと思っています。そして患者さん、ご家族、病院を利用される全ての方々に、より良いサービスを提供していきたいと思っています。



抱負を述べる久保看護部長